

1 保育所の整備

保育所等に係る施設整備については、地方分権の観点から、地域の自主性・創意工夫を活かしながら、国の基本政策である次世代育成支援対策を推進し、都道府県・市区町村行動計画を支援する新たな制度として、平成17（2005）年度に児童福祉施設等を対象とした「次世代育成支援対策施設整備交付金」を創設し、平成18（2006）年度は民間保育所等の整備の推進を図るため140億円を計上したところである。

また、「子ども・子育て応援プラン」に基づき、引き続き推進していくこととしている待機児童ゼロ作戦に基づく保育所受入児童数の拡大を図るための保育所の新設、増築や、老朽化している保育所の改築整備の促進を図っていく。

さらに同プランに盛り込まれている事業の推進を行うため、地域における子育て支援のための子育て支援相談室等の整備、一時・特定保育事業のための保育室等の整備、乳幼児健康支援一時預かり事業のための保育室等の整備など、地域の実情に応じつつ、創意工夫を重ねて、積極的かつ効果的な整備を引き続き推進していく。

2 保育所への優先入所

保育所への入所については、平成15（2003）年3月に「保育所の入所等の選考の際における母子家庭等の取扱いについて」を通知し、母子家庭等の児童を保育所入所の必要性が高いものとして優先的に取り扱うことについて特別の配慮を求めたところであり、引き続き周知を図っていく。

3 延長保育

保育所の11時間の開所時間を超えて、さらに30分以上の保育を実施する延長保育事業については、「子ども・子育て応援プラン」に基づき、次世代育成支援対策交付金において推進しているところであり、平成18年度予算においては340億円を計上した。

なお、「子ども・子育て応援プラン」においては、平成21（2009）年度までに16,200か所で実施することを目標としている。

4 夜間保育

夜間の保育需要への対応を図るため、開所時間がおおむね午前11時から午後10時である保育所に対して、定員によって定まる保育単価に夜間保育所用加算分保育単価を加算している。

また、夜間保育所として特別に必要となる経費（1か所当たり年額150万円）を補助する夜間保育推進事業については、平成18（2006）年度予算において80か所分、4千万円を計上した。

さらに、夜間保育については、「子ども・子育て応援プラン」において、平成21（2009）年度までに140か所を実施することを目標としている。

5 乳幼児健康支援一時預かり事業（病後児保育）

乳幼児健康支援一時預かり事業（病後児保育）については、「子ども・子育て応援プラン」において、平成21（2009）年度までに1,500か所（全国の市町村の約4割）で実施することを目標としているほか、次世代育成支援対策交付金（ソフト交付金）において、特定事業（同プランにおいて具体的な数値目標を定め、重点的に推進する事業）に位置づけられており、引き続き推進を図っていく。

6 放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）

放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）については、「子ども・子育て応援プラン」に基づき、平成21（2009）年度までに全国で17,500か所とすることとしており、平成18（2006）年度予算においては、対前年度900か所増の112億円を計上し、引き続き推進を図っていく。

なお、放課後児童クラブにおける母子家庭等の優先的利用については、平成15（2003）年3月に「保育所の入所等の選考の際における母子家庭等の取扱いについて」の通知において、保護者の就業や求職活動、職業訓練などを行うことができるよう、各放課後児童クラブにおいて優先的に利用できるよう配慮を求めたところであり、引き続き周知を図っていく。